

生命倫理(生命倫理学)

科目到達目標: 現代の生命倫理の諸問題について一通りの知識を得るとともに、将来の医療従事者として今後自分自身でさまざまな問題について主体的に取り組んでいくための「考える習慣」を身につける。

科目責任者(所属): 安藤 泰至(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/4(火)	1	322	「医療」とはなにか?	安藤 泰至	基礎看護学	倫理とはきわめて日常的な問題であることを理解するとともに、バイオエシックス(生命倫理学)の成立の歴史についての基本的知識、および今日「生命倫理」で論争になっているさまざまな問題に共通する背景についての大まかな認識を持つこと。	医療とはなにか、QOL(生活の質)、生命倫理問題
2	4/11(火)	1	322	バイオエシックス(生命倫理学)の成立と発展	安藤 泰至	基礎看護学		バイオエシックス、医療の変貌、患者の権利運動
3	4/18(火)	1	322	インフォームド・コンセントと患者の自己決定権(1)	安藤 泰至	基礎看護学		インフォームド・コンセント、身体への侵襲、「法理」の概念、パターンリズム
4	4/25(火)	1	322	インフォームド・コンセントと患者の自己決定権(2)	安藤 泰至	基礎看護学		病名告知、情報開示の基準、国際比較、コミュニケーションと文化
5	5/9(火)	1	322	医学と戦争犯罪	安藤 泰至	基礎看護学		戦争と「人体実験」犯罪、731部隊、ナチス医学
6	5/16(火)	1	322	人体実験の倫理	安藤 泰至	基礎看護学		戦後も続く非倫理的人体実験、被験者保護
補講	6/5(月)	5	322	人工妊娠中絶をめぐる論争	安藤 泰至	基礎看護学	生命倫理のいくつかの基本的なテーマについて、現在何が問題になっており、どのような議論が行われているのかについて、その背景と歴史的経緯を含めて理解し、それぞれの問題を自分自身の問題として、さまざまな側面から考えていけるようになること。	人工妊娠中絶、胎児の生存権、女性の自己決定権、中絶をめぐる法規制
8	5/30(火)	1	322	生殖補助技術をめぐる倫理問題	安藤 泰至	基礎看護学		不妊治療、人工授精、体外受精、精子や卵の提供、代理出産
9	6/6(火)	1	322	いのちの選別につながる生命操作技術	安藤 泰至	基礎看護学		出生前診断、選別的中絶、着床前診断、いのちの選別
10	6/13(火)	1	322	新しい優生思想の誘惑とその危険性	安藤 泰至	基礎看護学		優生思想、ナチスの悪夢、新しい個人主義的優生思想
11	6/20(火)	1	322	安楽死・尊厳死をめぐる議論(1)	安藤 泰至	基礎看護学		積極的安楽死、消極的安楽死(延命治療の中止と不開始)、医師の幫助による自殺
12	6/27(火)	1	322	安楽死・尊厳死をめぐる議論(2)	安藤 泰至	基礎看護学		尊厳死、死の自己決定権、二人称の死
13	7/4(火)	1	322	脳死は人の死か?	安藤 泰至	基礎看護学		「脳死」と呼ばれている状態、「脳死=死」説、死の判定基準
14	7/11(火)	1	322	臓器移植と人体の道具化・手段化	安藤 泰至	基礎看護学		生体移植、脳死移植、心停止後移植、人体の道具化・手段化
15	7/18(火)	1	322	医療者の守秘義務と個人情報保護	安藤 泰至	基礎看護学		伝統的守秘義務、医療情報の公益性、プライバシー権、個人情報保護

教育グランドデザインとの関連: 1、3、4、7

学位授与の方針との関連: 2、3、4

指定教科書: なし。講義は、毎回配布するプリントにしたがって進める。

参考書: Moodleのメールで情報提供する。全講義終了後、各項目ごとの参考文献を一覧にしたファイルを送信する。

評価: 試験 75%

小レポート 25% 講義期間中5回提出